

貯玉補償基金だより

2024年 1月 通巻95号

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様に関心をお見舞い申し上げます。

貯玉補償基金は設立以来16年を経過し、昨年12月末現在、当基金にご加入いただいておりますホール様は5,714店となっております。これも偏に、行政ご当局のご指導と関係諸団体のご理解・ご支援のもと「貯玉システムの適正な運用」と「システム利用者の利益保護」への理解がいつそう深まった賜物と、深く感謝いたしております。

また、去年の当基金の主な事業内容でございますが、ホール経営法人の倒産等に伴う貯玉補償を3法人(5店舗)で実施しました。

本年も、ファンとホールの皆様にとりまして、貯玉システムが「安心・安全」の礎となり、更なる業界の発展に繋がりますよう、当基金も努力してまいります所存です。ご関係各位の皆様におかれましては、なお一層のご指導・ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。

末筆ではございますが、今年も皆様にとりまして、よい年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

一般社団法人貯玉補償基金
代表理事 西村 拓郎

2024年版「貯玉補償基金ポスター、ステッカー、加盟店バナー」の提供

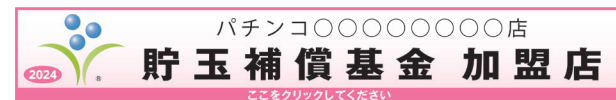
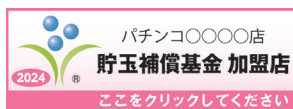


2024年版 ポスター

ポスター、ステッカーの提供方法について、2023年版より、ホームページからのダウンロードにて対応しております。

2024年版についても、昨年12月よりダウンロードを開始しております。

また、貯玉補償基金加盟店であることを周知できる「加盟店バナー」も2024年版に更新いたしました。



2024年版 加盟店バナー

補償実施報告

2023年10月開催の理事会にて補償適用承認を受けた有限会社新見センター(パーラーNi. C:岡知県新見市)の貯玉補償を同年11月に実施しました。